

一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会  
2019年度 事業報告

報告対象事業期間

2019年6月1日～2020年5月31日

主な活動内容

1. 合宿勉強会の開催

2019年7月14日、15日の両日、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）にて合宿勉強会を開催。北海道から九州まで、全国22の会員団体、計36名が一堂に会し、学習支援の市場化をはじめ、様々なテーマでのディスカッションを行いました。また、外部のファンドレイザーをお招きし、ファンドレイジングに関する勉強会も実施いたしました。

2. 要望書の提出

2020年2月12日、厚生労働省生活困窮者自立支援室室長の吉田昌司様に対し、全国の自治体に対して「生活困窮者自立支援法に基づく学習支援事業にかかる事業者の選定については、価格のみで事業者が決定されるということがないよう、その事業内容等を具体的に精査したうえで選定すること」、とする通達を継続周知していただきたい旨の要望書を提出いたしました。

3. 企業とのマッチング事業

全国労働金庫労働組合連合会様（以下、全労金様）と連携した子どもの貧困解決に向けた取り組みとして、全労金様の全国14の単組にて勉強会を開催いたしました。

また、ニッセイ商事株式会社様から文房具等ノベルティグッズ、JR東日本メカトロニクス株式会社様からタブレット端末、をそれぞれご寄贈いただきました。

加えて、代表理事の青砥が「Minecraft Cup2019 全国大会」の大会アドバイザーに就任いたしました。

4. 助成金の獲得

2020年度「学習支援事業の立ち上げ期にある団体の支援事業」として、第4回未来応援ネットワーク事業（子供の未来応援基金）より、3,000,000円の助成をいただきました。

5. 新型コロナウイルスによる学習支援事業等への影響調査

当会会員団体に対し、新型コロナウイルスの影響による一斉休校に伴う学習支援事

業への影響等をアンケートにより調査し、内閣府による子供の未来応援基金の運営などに資するための情報として内閣府に共有いたしました。

## 6. 啓蒙活動

当会ホームページ、並びに Facebook ページにて、子どもの貧困や教育支援に関する情報発信を行いました。

### 会員団体、協力団体について

会員団体については、2020年5月末時点で67団体となりました。また、協力団体としては2団体からのご賛同をいただいております。

### 理事会の開催について

2019年度、理事会を全6回開催いたしました（①9月24日、②11月8日、③11月29日、④12月13日、⑤3月6日、⑥4月24日）。

理事会では、各理事が当会の運営方針、活動計画等について協議しました。

一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会  
2019年度 事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項

◆特記事項なし